NIRO
The New Industry Research Organization
News Letter vol.29
February 2015
(公財)新産業創造研究機構 www.niro.or.jp

目次
橋本芳純専務理事ごあいさつ …… 1
研究開発部門 …… 2
技術移転部門 …… 3
技術支援部門 …… 4

ごあいさつ

専務理事　橋本　芳純

時間がたつのは早いもので、2015 年がスタートして 2 か月になろうとしています。新しい年になり皆様方も新たな目標を立て、その達成に向けて日々努力されておられることと存じます。

さて今年の 1 月 17 日で甚大な被害をもたらした阪神・淡路大震災から 20 年がたちました。ご承知のように新産業創造研究機構は 1997 年 3 月に阪神・淡路大震災からの復興を目指して、地域企業と自治体が連携して設立されました。「新産業創造」という言葉が示すように、これまで大学や民間の高度な技術の移転や新技術・新製品の開発および事業化支援を通じて、県下の中小企業がその持っている力を伸ばし、オンリーワン企業として成長することをお手伝いすることによって地域経済の発展や安全・安心な活気のある街づくりに貢献することを使命として活動を行ってきました。震災から 20 年を迎え、中小企業の復興・発展を通じて地域社会に貢献するという活動の原点を忘れずに今後とも事業を実施していきたいと思います。

今、世界の社会・政治・経済はめまぐるしいスピードで変化しています。その中で従来の枠組みの中でだけ物事をとらえていては、生き延びていくことが厳しい状況です。世界の動きに目を配り、その状況に応じた新しいビジネスモデルを作り出す力が必要とされています。**「最も強いものが生き残るのではなく、最も賢いものが生き延びるでもない。唯一生き残るのは、変化できるものである」**という「種の起源」・進化論で有名なチャールズ・ダーウィンの言葉はビジネスの世界でもあてはまる言葉だと思います。

兵庫県下の中小企業がグローバルに活躍できる企業として発展されるよう、他の支援機関と協力して活動を展開していきますので、これまで以上に当財団をご活用いただくようお願い申し上げます。

平成 27 年 2 月

NIRO 本部事務所の移転

当財団本部事務所は平成26年8月より、「神戸商工会議所会館4階」に移転しています。

今後とも、神戸商工会議所と連携した活動により、地元企業様の支援活動をより効率的に進めて参りますので、変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。

移転後の住所
〒650－0046
神戸市中央区港島中町6-1 神戸商工会議所会館4階
（ポートライナー「市民広場」駅下車 北へ徒歩5分）

電話番号
これまでと変わりません
TEL：078－308－6800（代表）
FAX：078－306－6811

研究開発部門

競争的資金による研究開発事業のご紹介

平成２６年度は近畿経済産業局が推進する「戦略的基盤技術高度化支援事業」（略称：サポイン）で６件、文部科学省関連の「地域イノベーション戦略支援プログラム」で１件、農林水産省事業で１件、兵庫県 COE プログラム推進事業で３件の研究開発事業を実施しています。

これらの中から、２件の例をご紹介します。

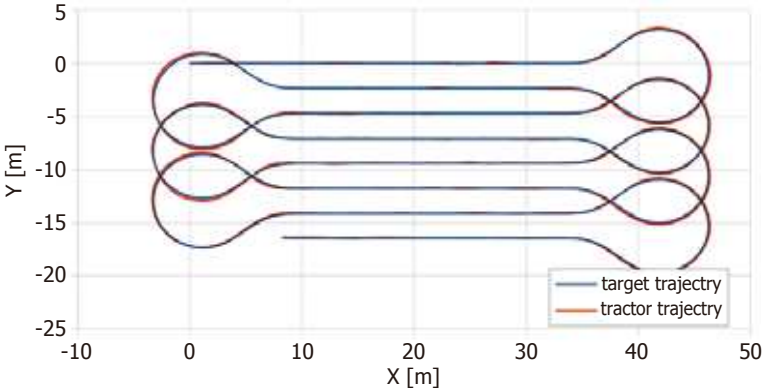
【平成 25～27 年度　戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン）】

小型･低消費電力･高精度で安価な農機用航法センサの研究開発

（参画機関：長田電機（株）、（国大）神戸大学、（独）農業･食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター）

日本の農業の後継者不足や労働力不足を解消するために、農業の効率化・省人化・ロボット化の技術が必要とされています。本研究では、トラクタなど農機の運転アシストや自動走行のために、GPSその他の衛星測位システムを利用した高精度で安価な航法センサ（位置・姿勢・方位センサ）を開発しています。１周波受信方式RTK−GPSでの測位演算技術及びGPS/IMUの統合航法を開発することにより、従来の海外製品と同等の機能や性能を持ちながらコスト 1/10 以下の航法センサを実現し、トラクタなど農機に搭載して農業の効率化を推進します。

センサユニット試作機の外観



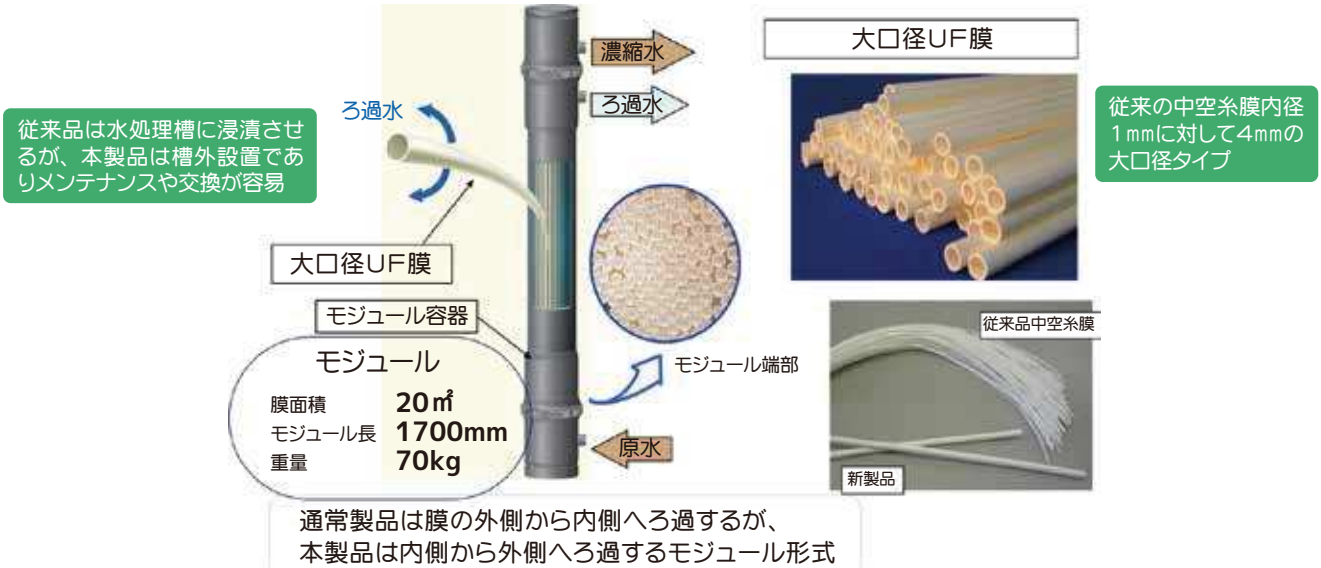
トラクタ自動走行実験軌跡例

【平成 24～28 年度　文部科学省　戦略支援プログラム】

革新的膜工学を核とした水処理ビジネスにおけるグリーンイノベーションの創出

（参画機関：積水化学工業（株）、（国大）神戸大学、（公大）兵庫県立大学）

今世紀は“水”の世紀と言われ水需要の爆発的拡大が予想され、我が国が得意とする分離膜水処理システムへの期待は極めて大きいところがあります。本テーマでは、革新的分離膜とこれを使用した水処理システムの開発と産業化を推進するグリーンイノベーション拠点を形成します。下記は膜の重要課題である「汚れ」を研究した結果、素材と構造に特徴のある成果の第一号で、浄水や汚水の処理に使用されます。



技術移転部門

技術移転センター（TTC）

●平成 26 年度「特許等取得活用支援事業」の活動状況について

標記事業を近畿経済産業局よりNIROと（一社）兵庫県発明協会のコンソーシアム体制で受託し、兵庫県下の中小企業が抱えている知的財産に関する悩みや課題を「知財総合支援窓口」で受け付け、その解決を支援しています。

今年度は、知財専門家としてNIRO技術アドバイザーに加え、弁護士（2名）、弁理士（4名）を新たに相談窓口に配置し、相談支援の質の向上を図ると共に、知財専門家を活用した知財支援を求めている新規中小企業の発掘を行っております。

また、近畿経済産業局特許室、兵庫県、神戸市等の自治体関係者、中小企業支援ネットひょうごの構成機関、地元金融機関、弁護士の出席の下、連携会議を開催し、本事業の活動状況、知財に関する情報の共有化を図り、これらの機関の更なる連携強化を図りました。更にアンケート調査による中小企業の相談支援活動に関する評価や中小企業の知財意識の把握を行い、中小企業に満足いただける支援活動に取り組んでいます。

今年度も、近畿経済産業局主催の知財ビジネスマッチングマート事業に参画し、大企業開放特許の技術移転活動を実施しています。

新規発掘中小企業の知財支援、特許、商標のライセンス契約締結、特許・商標の権利取得、大企業とのマッチング等の成果が得られています。

引き続き知財総合支援窓口をよろしくお願い致します。知財相談をお待ちしております。

相談実績件数
（H26.4 ～ H26.12）

窓口相談件数	524 件
知財専門家による支援件数	113 件

連携会議風景

知財総合支援窓口 ▶ NIRO 技術移転センター TEL：078-306-6808

ＴＬＯひょうご

事業の仕組み

大学向事業
業務委託型
★産学連携・知財部門の補完的役割
★シーズ発掘

行政向事業
業務委託型
★産学官金連携推進事業

ライセンス事業
成功報酬型
大学・高専等シーズの企業へのライセンス

プロジェクト事業
業務委託型
★プロジェクト発掘、推進、事業化

企業向事業
業務委託型
★大学シーズ情報等の提供
★大学の研究及び研究成果を企業ニーズにマッチング
★事業化支援

最近の新しい取組

農工連携・漁工連携プロジェクトの創出 プロジェクト事業

ナノマイクロバブル 等の技術を用いて、いちご栽培、陸上養殖、漁業における、生産性の向上、鮮度維持、6次産業化等に生かすプロジェクトの創出に取り組んでいます。

中小企業向 業務改革取組支援（情報システム化支援） 企業向事業

中小企業の身の 丈に合った、図面の電子化（3D･CAD 化）、生産のシステム化（PLM 化）のシステム作りの支援を通じて、合理化、効率化、見える化、“匠”依存からの脱却、技術伝承等に取り組んでいます。

技術支援部門

「ひょうご産学官連携コーディネーター協議会」の活動について

「ひょうご産学官連携コーディネーター協議会」では、会員のスキルアップと情報の交換会及び成長分野での中小企業の市場参入の可能性示唆及び産学・産産のビジネスマッチングの機会として「ひょうご産学官連携研究会」を運営しています。

1．情報交換会

（1）第１回：平成26年6月23日（月）
◉ **コーディネート事例報告及びコーディネート力強化等**

（2）第2回：平成26年11月12日（水）
◉ **講演「富良野市のごみ資源化（資源化率90%）への取組と苦労した点について」等**

（第１回 情報交換会）

2．勉強会

（1）在宅医療・介護・福祉勉強会（平成25年8月～11月（計5回））
（2）平成27年度の経産省・文科省・農水省・環境省概算要求のポイント勉強会（12月5日（金））

3．ひょうご産学官連携研究会

オープン型：「新エネルギー研究会」「環境・資源・リサイクル研究会」、「ひょうご水ビジネス研究会」と
クローズ型：「ひょうご航空ビジネス・プロジェクト」、「医療機器・介護・福祉機器ビジネス研究会（1社対応型）」
があり、それぞれ事業化に向けて活動しています。
活動の中から、**異業種交流活性化推進事業**（幅広い分野においてビジネスパートナーや事業連携の可能性を発掘する取組を支援）に「環境・資源・リサイクル研究会」の分科会である「マイクロ・ナノバブル利活用推進研究会」が、**ものづくり中小企業・小規模　事業者連携支援事業**（個々の中小企業では対応できない経営資源の解決と成長発展を目指す取組みを支援）に「ひょうご航空ビジネス・プロジェクト」が採択されました。

「平成25年度 NIRO事業報告会」の開催

平成26年10月24日に平成25年度NIRO事業報告会を開催し、131名ものご参加を賜りました。NIRO各部門の活動成果報告のほか、連携して開発を進められた企業様からの技術・製品開発ご発表や、NIROの新しい取り組みをご紹介させて頂きました。

「高性能ディスプレイ用有機半導体の超臨界下合成技術の開発と今後の展開」
神戸天然物化学（株）機能材料開発室長　　本間　清史　様

「マイクロ・ナノバブルの利活用の取組み」
神戸市立工業高等専門学校機械工学科教授　　赤対　秀明　様

「『農』イノベーションひょうごの取組みと農商工連携について」
兵庫県農政環境部農政企画局総合農政課副課長　　菅村　哲也　様

「国際フロンティア産業メッセ 2014」の開催（過去最大級の出展）

427社・団体が出展、28,053人が来場されました

平成26年9月4日（木）・5日（金）に西日本最大級の総合展示会「国際フロンティア産業メッセ2014」が開催されました。

「ひらめき」を「キラメキ」に！
オンリーワン企業・機関が集結

をテーマとして、基調講演や特別講演、特別展示、各種セミナー、ICTビジネスマッチング、海外進出リスク軽減セミナー、神戸医療産業都市やスーパーコンピュータ施設の見学ツアーなど、盛り沢山のプログラムで、大変盛況でした。

出展企業への事前ヒアリングや、当日のマッチング活動を行う「メッセ・ナビ」を配置するなど、ビジネスマッチングに力を入れ、商談に結びつく展示会と好評です。

平成27年度も**9月3日（木）・4日（金）**に**「国際フロンティア産業メッセ2015」**を開催いたします。皆様のご出展、心よりお待ち申し上げております。

2014年アンケートより
（開催最終日現在）

来場者の**94%**が**次回も来場したいと回答！！**

一般的な相談・商談
64.4 件／社・団体

今後のセールス・技術提携につながる見込みの相談・商談
8.0 件／社・団体

国際フロンティア産業メッセ2015
9月3日(木)・4日(金)　10:00～17:00
神戸国際展示場　ポートアイランド
http://www.kobemesse.com
産業メッセ2015　検索
出展者募集中!!

賛助会員募集

NIROでは、広く賛助会員を募集しております。地域で活動されている企業で、当機構の事業目的にご賛同いただける企業・団体なら、業種・規模は問いません。また、NIRO賛助会員は自動的に「TLOひょうご企業会員」にも登録されますので、様々な特典を受けることができます。年間会費は一口５万円です。地域の産業振興に貢献する当機構の趣旨をご理解のうえ、是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先：(公財)新産業創造研究機構 事務局　担当：長谷川、大田
TEL：078(306)6800　FAX：078(306)6811

発　行：(公財)新産業創造研究機構（NIRO）
所在地：〒650-0047 神戸市中央区港島南町１丁目５番２号
ＴＥＬ：078(306)6800　　ＦＡＸ：078(306)6811
e-mail：webmaster@niro.or.jp　　ＵＲＬ：http://www.niro.or.jp
無断転載禁止